



校長 陣内 靖介

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとう。

4月からの社会人として、専攻科生として、大学生として、あるいは大学院生としての新たな挑戦への期待に胸を膨らませていることでしょう。北九州高専で5年乃至7年かけて鍛え磨いた心身をばねに、さらに大きく雄飛されることを心から期待しています。

歴史に残る偉業を達成した人や社会の各分野で活躍している人達の成功談には、偉業への飛躍点になった機会がよく紹介されます。たとえば、ニュートンの「万有引力の法則」発見にまつわるリンゴの落下の逸話は大変有名で2代目の木の分身を日本でも見ることができますし、昨年の秋ノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんの大発明は金属粉末に誤ってグリセリンを混入し、勿体無いからと捨てずに実験に使ったことから始まったという爽やかなエピソードは皆さんの記憶に新しいと思います。

このような逸話が広く伝えられるのは、単なる好奇心の問題だけでなく、夢や目的を実現するためには絶好の機会を逃さずに捉えることが非常に大切だからです。

近代日本の稀代の蔵相と言われる高橋是清は機会について、三菱財閥の基礎を築いた岩崎弥太郎の次のような話を紹介しています。

「機会というものは人間一生のうちには、誰でも一度や二度は必ず来るものである。それを捉え損ねると、その人は一生立身出世が出来ない。しかもこの機会というものは何時いかなる場合に、どういう形式でやって来るかもわからない。機会が来てから、それを捉えようと思って騒ぎまわってもだめである。

ちょうど河や海に魚が一時に沢山集まってくることがあるが、あれと同じだ。魚が集まることも、そう度々あるものではない。度々無いところに、魚が集まって来たというので俄に騒いで、網を作り、船

# 機会を逃がさない準備を

を造ったところでもう遅い。だから、何時魚が集まって来ても、すぐにそれを捕えることが出来るように、平素ちゃんと準備をしておけば、その場になってマゴつかずに一挙に沢山の魚を捕えることが出来る。

機会もそう度々来るものではない。また、欲しいと思っても、ままなるものでもない。魚を沢山集めようと思っても、集めることが出来ないのと同じことであるから平素において何時機会が来ても、すくさまそれを捉えることが出来るように、準備しておかなければならない」

高橋は機会を捉える準備として第一に学問を修めることを勧めています。学問の基礎がないと物事に対する判断を誤ることがしばしばあるというのです。第二は見聞を広めること。見聞が狭いと機会を広く捉えることができない。第三は品性を高くすること。人格がなければ、欲のために奴隷になるおそれがある。欲の奴隷になれば、そのために目が眩んで、千載一遇の好機を取り逃がしてしまうことになる。つつまなければならぬと諭しています。

この話は1925年頃聞き取った随想のようですが、今も立派に通用する訓と思います。幸い皆さんの大多数は高専で修得した科学技術の力が発揮できる(修得してなければ、仕事ができない)職業に就きます。第一の学問は専門の科学技術の知識と応用力と考えてよいでしょう。

第二の見聞は英語、国語など情報知識の授受手段に加えて、高い教養の修得と様々な分野の先人友人との交友の拡大。これらから得られる高い視点からの広い視野は的確な判断と行動に繋がります。

第三の品性は我欲のために他人を犠牲にしたり、盗んだりするのは言語道断ですが、親や孫子にも言えないような品の無い恥ずかしいことはするなと言うことです。最近の国内外の世情を見ると、実は第三の品性が何よりも大切だと思わざるを得ません。

皆さんは今、正に盛年真っ盛り。花発きて風雨多し。時には山もあれば谷もあるでしょうが、常に機会をしっかりと捉える準備を怠らず、稔り多い後楽の人生を目指して今後も大いに邁進してください。皆さんの活躍と発展を祈ります。

# 雄志名

物質化学工学科 山根 大和

▼禁煙・分煙のススメという話題。周知のとおり未成年者の喫煙は法律で禁止されている。校内で喫煙する成人学生の姿を毎日見ながら、未成年の学生に禁煙を唱える。厄介なのは、高専では未成年者と大人が同居していることだ。Web検索から、日本で、タバコを吸っている人は、全人口の約35%で約3,000万人だとわかる。そのうち、未成年者は、なぜか約90万人らしい。さらに、タバコ関連疾患での1年間の死亡者数は(タバコを吸っていることが原因で亡くなる人の数)約10万人だそう。ちなみに、交通事故での1年間の死亡者数は約1万人である。交通事故の死亡者の10倍の人が、タバコが原因で毎年亡くなる。1日20本タバコを吸いつづけている人と、吸わない人との平均寿命の差は約7.5年だそう。さらに数値データを挙げる。タバコの煙には約4,000種類以上の物質が含まれている。そのうち、明らかに有害な成分は約200種類以上、約50種類以上は発ガン性物質だそう。▼昨年あるガン患者を見舞いました。肉体的に精神的に壮絶な痛みと戦っている姿を見て、健康であることの大切さを深く考えました。ガンの原因は様々です。ウイルス・化学物質・電磁波・紫外線・遺伝子・免疫……なかなか自分で完全に取り除ける原因は少ない。▼嗜好の問題なので愛煙家の学生に怒られるかもしれないが、タバコは自分の意思で止められるのではない。自身の健康のためにもタバコは止められないか。そして、あなたがタバコを止めたら、まわりの人に有害な煙を撒き散らすこともなくなる。間接喫煙による健康被害を予防しよう。▼校内で小声を挙げていた僕は、愛煙家の学生皆様には、まずまず煙たがれることは自覚している。蛇足だが、僕は保健の先生ではなく、材料物性屋です。